



こどもの日の本

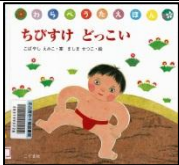


名古屋市図書館発行

読むめやす ★0~2歳 ★★3~4歳 ★★★5~6歳

ちびすけどっこい

こばやしえみこ/案 ましませつこ/絵 こぐま社 絵本 ★



うさぎやたぬきが順番にすもうをとります。最後は勝ち残ったくまと男の子「ちびすけやま」の勝負です。メロディーのないわらべうた「ちびすけどっこい」が、リズムカルな言葉の絵本になりました。おすもうさんになったつもりで、体をゆらしながら楽しめます。

こいのぼり

英伸三/写真 長谷川摂子/文 福音館書店 38 (行事) ★★



とても大きなこいのぼり、たくさんのこいのぼり、子ども達が作ったこいのぼり…。日本各地のこいのぼりを大きな写真で紹介する絵本です。それぞれの写真には子どもに語りかける短い文章が添えられています。1985年に出版された本ですが、行事の雰囲気をつぶり味わうことができます。

まいごのこいのぼり (紙芝居)

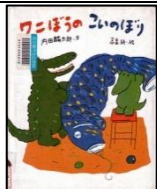
石井聖岳/脚本・絵 童心社 ★★



散歩中のねこのふうたろうが見つけたのは、迷子になって泣いているこいのぼり。ふうたろうはこいのぼりを背負って、おうちを探してあげます。池に行ったり、屋根に上ったりするうちに、持ち主の男の子が気がついてくれました。童謡「こいのぼり」を歌う場面もあります。

ワニぼうのこいのぼり

内田麟太郎/文 高畠純/絵 文溪堂 絵本 ★★



ワニぼうの家族がこいのぼりをかざりました。はるのかぜにおよぐこいのぼりがとてもきもちよさそうなので、おとうさんは思わず自分も「ワニのぼり」になります。それを見たネコやイヌもまねをしたくなります。ちょっと変わったこいのぼりが登場する、のどかなおはなしです。

くわすにようぼう

稲田和子/再話 赤羽末吉/画 福音館書店 絵本 ★★★



むかし、よくばりの男が、よく働くのに飯をくわない女房をもらいました。ところがこの女房の正体はおにばばでした。男はくわれそうになりますが、おにばばがしょうぶやよもぎが苦手だったために命拾いしました。五月の頃に読みたい昔話です。